

ランチョンセミナー4 (LS4)

後眼部疾患における 眼血流改善の最新知見

～予防から進行抑制まで～

日時: 2024年7月20日(土) 12:25~13:25

会場: B会場 郡山ビューホテルアネックス 3F 雲水峰

座長

中澤 徹 先生
東北大学

緑内障と眼循環

演者

津田 聡 先生
東北大学

近年、緑内障と血流の関係が注目される中で、眼血流低下が視神経の変化に先行して生じる場合もあることが明らかになってきた。また我々はFlammer症候群という外界からの刺激に対して血管内皮障害、血流障害が出現しやすい体質に着目している。血管応答に着目する中で、赤ショウガエキス(フロージンジャー®)が視神経乳頭血流を改善し、エンドセリン-1による眼血流減少を軽減させることが動物実験にて明らかになった(Takahashi N, Sci Rep 2023)。現在、本赤ショウガエキスを含有するサプリメントが入手可能となっている。本セミナーでは、緑内障と血流の最近の知見と共に、本サプリメントの作用を検討した臨床研究についてもご紹介したい。

網脈絡膜疾患と眼循環

演者

栗原 俊英 先生
慶應義塾大学

網膜は生体内で最も酸素需要が高い組織として知られ、網膜内外層をそれぞれ維持する網膜・脈絡膜血管系の破綻は疾患病態に直接的に関わっている。我々はこれまでに、網膜色素上皮細胞、視細胞及び網膜神経節細胞における低酸素誘導因子(hypoxia-inducible factor: HIF)の異常な安定化がそれぞれ、加齢黄斑変性にみられる病的血管新生・視細胞萎縮あるいは緑内障にみられる網膜神経節細胞死に関与していることを見出し報告してきた。本講演では、網脈絡膜循環に応じたHIFを介する網膜の恒常性維持と、その破綻から病態形成に至る過程を考察し、それに基づく新たな治療技術開発への取り組みを議論したい。

本セミナーは整理券制です。整理券の配布は先着順のため、なくなり次第終了させていただきます。ご了承ください。

共催: 第40回日本眼循環学会 / ロート製薬株式会社 / ロートニッテン株式会社

